

6	5	4	3	2	1				

大東亞戰爭關係衛生史編纂資料

(五月份)

第五十八師團

0282



陸

軍

大東亞戦争関係衛生史編纂資料(二) 中国側へ派遣スルト共ニ職業

二師團行動ノ大要

師團ハ依然蕪梅地区ニ駐留ヲシ復員準備ニ邁進スルト共ニ職業
指導教育及体力ノ増強ニ専心シアリ又一部中国側へ派遣中ノ馬込
選要員モ其ノ大部分ハ復歸セリ

二衛生部員ノ行動

月	日	区分	部員	行動	部員
---	---	----	----	----	----

十月	十五日		歩兵八連大隊	随時検閲ニ随行	五枝部員以下
	十五日				四名

十月	二十四日		獨立山砲隊	第五隊隊巡視ニ随行	三名
----	------	--	-------	-----------	----

十月	二十五日		北地区	検疫	井関澤密以下
			南地区	検疫	六名

又返還馬込選要員衛生勤務トシテ中国側へ勤務中ノ小崎半崎大尉以下

十名復歸セリ

0283

百五十五

三、主要疾患及患者ノ状況	
環境ノ不良ト氣候ノ悪感作ニ依リマラリア患者其ノ他一般疾病ハ以然多発ノ傾向ニ存リ主要疾患左表ノ如シ	
病名	新患入院患者
マラリア	六二四
感冒	二四九
胃腸疾患	一〇三
呼吸器病	三九
衛生代料ニ就テ	三
補給密魚ノ現況上材料ノ變護節由ニ努メアルモ現在地集結以來三月相當數ノ恙者發生ニ依リ藥物ノ不足ヲ未シアリ特ニマラリア劑下熱劑ノ量僅少アリ本月若干ノ補給アリタルモ主要藥物ハ少量アリ	
三、保養	
環境ノ不良ナル現況下兵衛ノ保養ニ思フ到シ嚴正ナル内務ノ履行	

(納谷貞・京東)

0284

ト休養給與ノ適切ヲ圖リ且積極的体力ノ向上ヲ圖ル爲相僕野球等
勵行セシム又日勤矣呼時ノ乾布磨擦含嗽ノ勵行被服履具ノ中者
保清日差曝干等ニ依リ防寒保溫ニ努メリ

六、防疫

住民トノ雜居ニ依リ衛生上不良ナル環境下持ニ衛生軍紀ノ振作ニ努メ
師團ハ防疫ノ重責ヲ瘡瘡回帰熱ニ指向シ防疫巡察ヲ實施スルト
共ニ被服履具ノ保清ニ努メルト共ニ量汗消毒ヲ實施シ蚊虱蚤
ノ徹底ヲ期セリ

又師團作命ニ依リ檢疫班ヲ編成シマラリア原虫腸管系傳染病菌
范柳癩ノ検査ヲ實施セリ

七、給與ノ狀況

主食ハ中國側ヨリ受領スルモ予備糧秣獲得ノ慮五ロシ及ノ主食量アリ
副食モ肉類少量ニシテ野菜モ又入手困難アリ給與ハ良好トラスモ
獸立調理法ノ研究等ニ依リ養價ノ向上ニ努メアリ又現地自造トシ

テ野菜ノ栽培豆腐味噌製造養豚等ニ依リ給與ノ向ヒラ闡レリ
八宿營ノ状況

部隊ハ其ノ大部分支那家屋ヲ利用シ金シキ資材ヲ以テ良ク創意

工夫シ防疫防寒施設ハ比較的良好ニテレリ又作命ニ依リ三角蒙

茸兵舎ヲ設立シ住民トノ雜居ヲ避ケマアリ

九、接收ニ關スル涉外事項

特記事項アリ

十、内地帰還ニ供フ衛生諸般ノ處置

①自給自給対策

自給自給ハ材料ノ入手困難ニ依リ設備ノ不完全等諸種ノ困難ニ依リ

密實施不能アルモ軟骨類ビタミン剤驅虫剤等作製使用シアリ其他

カーゼ巻軸帶ノ再製使用ニハ極力勵行シアリ

の一般傷病及傳染病ノ發生收療状況

長期要治療患者ノ外努メテ隊治ニ長期カ特種要治療患者ハ師團

(神谷道・京中)

0286

野戦病院へ入院セシメ後送患者ハ江兵站病院へ後送セリ

(5) マリアア及性病患者ノ處置

マリアア発熱者ノ検査且師團作命ニ依リ將校以下全員一斉検査ヲ
實施シ陽性者ノ摘出ニ努メ此レガ徹底的治療ヲ圖レリ

性病患者ハ師團作命ニ依リ將校以下全員ニ對シ明瞭ニ各期梅毒ノ
症状ヲ呈シアル者及陰莖潰瘍横痃ヲ經過セル者並ニ現存徴
毒ヲ疑ハシムル者(淋病ヲ含)ヲ選定シ検査ヲ實施シ陽性者ニハ根
治療法ヲ實施中ナリ

(6) 患者ノ轉後送

長期要治療患者ハ師團野戦病院ニ入院セシメ自動車又ハ民船ニ依
リ九江小池口兵站病院ニ後送セリ

(7) 居留民ノ衛生指導

ナシ

の検疫

師團作命ニ依リ検疫班ヲ編成シマラリア性病腸管系傳染病検査ヲ全員実施ス成積左表ノ如シ

検査病名	被検人員	陽性数	陽性率%	内訳
マラリア	七七九	八〇九	一〇四	三三 熱帯熱 一 合 八
腸管系傳染病	一六九	〇		
徴	五九八	一五四	二八	二六 三 五 七 〇

(第谷典・京東)

0288

陸軍

大東亞戦争関係衛生史編纂資料(昭和三年四月分) 陸軍省 第五十師團

一 部隊行動ノ大要

師團ニ前月ニシテ續々黄梅地區ニ在リテ復舊業務整理ノ完遂ヲ期スル共ニ

新兵舎ノ營築 職業輔導教育 内務教育ニ努心 祖國復興ノ中核

タルニ必須ノ教育ヲ爾後ソテ体力ノ増強ニ勉メアリ

二 衛生部員勤務ノ状況

月 日

行

事

備

考

月 日

返還馬車員ニ對シ檢束實施

將校ニ下官兵一々

第一回軍醫輔導教育

輔導官 大石

一月二十八日

課員 一血殺ノ法醫藥 二夜間勤務員

被教育者 全員

其不測無事病ノ預防
四宣傳ノ実施ニ就テ
五松山師團トシテ水陸
六婦人科開業ニ就テ

三 主要疾病ノ患者ノ状況

病 名

新患(就葉以三)

前月トシテ

一日平均給養人員ト對スル

マシリテ	一、一七、一	増	五四七名	一、一、九
蔵	五五〇	増	三〇一名	五、文
海	二三	減	二名	〇、二
胃腸夜患	一、二〇	増	一八名	一、二

新患、月間ニ四ニ九名ニシテ前月ニ比シ一〇四八名、増加ナリ(既業以テ)

四、衛生材料ニ就テ

清薬病、其保存量僅クナリ、且價昂、見透シ困難ナリ現況下、保赤薬物ノ愛護並用ニ勉ムルニ共ニ漢薬ノ蒐集等ヲ奨励セリ

漸次此ノ再製ニ重点ヲナシ、月間再製状況左ノ如シ

品名	数	品名	数	品名	数
養軸帶	二	養軸帶	一	三筒巾	二
同	四九	同	一	同	五〇
	ガ		七		
	バ				
	ニ				
	七				
	隠				
	脂				
	綿				
	及				
	五				
	〇				

五其ノ他

卜深育ノ状況

(右表 単位)

退院患者ニシテ轉屬シ来ル兵ノ健康状態未回復ナル者及ビ月例身体検査ニヨリ摘出セル患症意兵ヲ以テ保育班ヲ編成 整正ナル内務ノ履行ト相俟テ精神的 肉体的ニ強化セシムル共ニ師團ニ於テ祖國復興ノ中核タル必要適宜体力養成ノ爲 衛生規則ノ定メ之ガ實行ニ勉メアリ

2. 疥癩

在黄岡道及隊ニ回歸熱多發ト報ラ後々 師團ハ過半数ガ一般華人と雜居状態ニ在リテ 疥癩ニ多クノ障碍アルヲ以テ衛生部員ノ活躍 巡察等ニヨリ前哨ノ撤ラ踏ムル如ク 疥癩ノ萬全ヲ期シアリ

阿岡ノ初メ中國分派遣者ノ歸隊ニヨリ虱ノ般入ノ患多クシテ以テ之ガ檢索ノ爲 師團野戰病院ヨリ巡回檢索班ヲ編成 檢索ヲ實施シ 疥癩ニ勉ムルニシテ 回歸熱患者發出セリ 亦 退院患者ヨリ回歸熱患者ヲ出セリ 之ガ退院後一、二週間 隔離ヲ實施スル如ク勉ムアリ

3. 給養ノ状況

給養ノ度ニテ師團ガ最メノ腹心事トシテ遺憾ナキ如ク期シテモ立食ノ副

食ノ定量確保至難ニシテ如クモ諸物價ノ高騰ハ之ニ拍車ヲカキアリ
現任 主食平均五〇〇グラムニシテ 主副食夫々全熱量ニ五〇〇カロリー程度

出給舎ノ状況

勉々華族ノ雜居ヲ辨テガ爲 各家共ニ向兵舎ノ構築ニカクレモ資材ノ
不足莫クシ兵員ノ三分ノ一程度ヲ收容シ得ルニシテ過半数ハ從前通
華民家屋ヲ借用 雜居ノ状態ニアリ

新兵舎ノ華民家屋ニ比シ寒氣甚シク夜間ハ睡眠ヲ付ケラレシガ誘因
トナリ感冒患者多發セルハ遺憾ナリ

大接收ニ關スル渉外事項

特記スル事項アリ

七、内地歸還兵隊ノ衛生諸般ノ處置

ト自給自給ノ対策

衛生材料ノ不足 就中藥物ノ不足ハ補給ナク現況下自給自給ニ頼

陸軍

外ヶテノ漢藥ノ蒐集 製作 製劑ニ多クテハ困難ヲ覺セテ努力カシアリ

瀉症、セシタン根煎、糠エクス、硫黄軟膏、研膏、硫黄溶劑等ノ製劑

ヲテシツアリ

2. 一般瀉病及傳染病ノ發症ニ對シテ

可醫新兵舎ニ移轉スル者ヨリ多數ノ感冒患者ヲ出シ 傳染病ノ發症及

寒暑及暈眩症等ノヨリ回歸熱患者ヲ出シ

病名	病名	病名	病名	病名
瀉	急	急	急	急
性	性	性	性	性
腸	腸	腸	腸	腸
炎	炎	炎	炎	炎
回	回	回	回	回
歸	歸	歸	歸	歸
熱	熱	熱	熱	熱
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
急	急	急	急	急
性	性	性	性	性
咽	咽	咽	咽	咽
頭	頭	頭	頭	頭
炎	炎	炎	炎	炎
八	八	八	八	八
七	七	七	七	七
外	外	外	外	外
傷	傷	傷	傷	傷
四	四	四	四	四
二	二	二	二	二

3. マリア性病患者ニ對スル處置

マリア患者ニ依前トシテ跡ヲ絶セズ 前月ニ比シテ四五名ノ増加ヲ見

マリア劑ノ不足ニ對シテ最モノ効力ヲ興ヘアリ

見下ノ所發熱者ノ十日間療法ヲ實施シ安靜療法ヲ採用シテ

性病患者ニ徴察及應(廿)以上ノ付 驅黴療法ヲ實施シテリ

4. 患者ノ轉後退

月間ノ院數 一ノ名ニテ 九江地區兵站病院へ後送セシ者

月間 五ニ名ナリ

由檢 復

月間返還患者ニ付檢波實施 成績 次ノ如シ(附表一ニ)

(1) 行長・結果

0294

附表

返還馬要員ママリヤ回歸熱検疫成績表

部隊名	マ		ラ		リ		ア		被検人員	計	混合熱	熱帯熱	三日熱	被検人員	回歸熱
	マ	ラ	リ	ア	マ	ラ	リ	ア							
師團司令部	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8	0	0	0	18	0
五十二旅團司令部	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4	0
獨歩九十二大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	10	0
獨歩九十三大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	7	0
獨歩九十四大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4	0
獨歩九十五大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
五十三旅團司令部	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0
獨歩九十六大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
獨歩九十七大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
獨歩九十八大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
獨歩九十九大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
獨歩百大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
獨歩百七大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
獨歩百八大隊	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0

陸軍

0295

〇 一	〇	〇	〇	〇	三 五	〇	〇	〇	〇	〇
五	〇	〇	〇	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇
一〇 八	五 文	一 三 五	三 一	一 〇 五	二 〇 九	九 四	四 三	一 〇 五	一 三 七	一 四 〇
二 八 九	一	六	八	五 五	一 八	三	一 〇	一 三	七	八
三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一 〇 三	一	二	一	二 文	六	一	二	一	〇	一
一 八 三	〇	四	七	二 九	一 〇	二	八	四	七	七
二 七 七 文	一 八	四 八	二 文 〇	五 二 五	八 文	三 二	二 三 四	一 一 四	五 一	五 七
計	憲 兵 隊	野 戰 倉 庫	四 兵 站 輸 送 隊	獨 砲 五 聯 隊	師 團 山 砲 隊	師 團 騎 馬 廠	野 戰 砲 隊	師 團 輸 重 隊	師 團 通 信 隊	師 團 工 兵 隊

(利谷 越・辰泉)

0296

附表 二

送還馬頭員、徴毒、賜管系、檢査成績表

陸軍

賜管系		檢査人員		計		徴毒		檢査人員		部隊名	
成績	檢査人員	檢査人員	對%	計	徴毒	計	徴毒	檢査人員	部隊名		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	獨歩百八大隊		
0	7	27	27.3	6	0	3	0	2	獨歩百七大隊		
0	1	25	25.0	1	0	0	0	4	獨歩百六大隊		
0	15	57	57.5	3	0	0	0	2	獨歩九十六大隊		
0	0	25	25.0	5	0	1	0	8	五十三旅團司令部		
0	29	111	111.1	19	0	9	0	0	獨歩九十五大隊		
0	25	103	103.0	4	0	4	0	9	獨歩九十四大隊		
0	56	217	217.0	4	0	0	0	4	獨歩九十三大隊		
0	36	183	183.0	9	0	9	0	4	獨歩九十二大隊		
0	21	99	99.0	2	0	2	0	5	五十一旅團司令部		
0	1	25	25.0	1	0	0	0	4	師團司令部		

計	一五	一	一	一	二	三	一	六	一八	一	〇
	一	一	一	二	三	四	一	九	一	一	〇
	〇	〇	〇	〇	七	〇	〇	〇	〇	一	〇
	一	〇	〇	四	三	一	八	〇	〇	一	〇
	〇	〇	〇	一	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	一	〇	〇	七	一	二	一	二	二	二	〇
	一四	六	〇	二	一	一〇	一	一	一	一	〇
	三〇	四	一	一	三	一	二	二	二	二	一
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	憲兵隊	野戦倉庫	回兵粘糊庫中隊	礮五聯隊	新團山砲隊	新團馬廠	野戦砲隊	新團騎重隊	新團通信隊	新團工兵隊	

(編者・東京)

0298

大東亞戰爭期間來衛主史籍纂集資料(二十頁分)

中華民國
湖北省
黃梅縣

第五十八師團

陸軍

一、部隊行動ノ概要

師團ハ前月引續キ黃梅地區ニ在リテ復員業務ノ完遂ニ勉ムル共ニ
北地區及南地區ノ復員業務検査ヲ格尊實施シ、職業輔導ヲ教
育モ第二期ニ入リ、一般ト精進シテリ

月間師團長 工兵隊及獨ニ歩兵隊百六文隊ヲ檢閲ス

二、衛生新員勤務ノ状況

月間精進ニシテ善處ナシ

二月二十四日 衛生材料 書類検査ノ實施ス

三、主要疾病及患者ノ状況

病名	新患(就養以上)	前月トノ比	日平均給養人員ニ對スル%
マロリア	一一二	減 四九名	一一、一
感冒	三四二	減 二〇八名	三、五

0299

脚	氣	一六	減	七名	〇一
胃腸疾患		一〇四	減	一六名	一〇〇

新患は月間二一九七名を以て前月を比し三三三名を減すなり(就中以下)

四衛生材料に就て

藥物不足は漸く逼迫に就中「マラリア剤」解熱剤「健胃剤」創傷消
 毒剤「皮膚病治療剤」最も甚しく「マラリア剤」「マラリア剤」發熱後
 數日間の投薬に他は投薬を得ざる状態なり

解熱剤中「アスピリン」又「健胃剤」皆減なり

回歸熱患者に對し「サルファ」を投与せず「サリドマイド」

消耗品不足の例を以て「再製」を再製する事なる状態なり

五其の他

○保育の状況

不備な環境下に見る悪条件を克服し恩恵を保育に到らしめ風疹上被服
 寝具の保清は日老消毒の實施 温存尿器を勉め 凡有機會ヲ

(1) 各社・京東

0300

未ニテ体操運動ノ實施 給養費之ノ現支給物資ヲ以テ最大限ニ充
用シ休養 給養ノ真正對テハ最大ノ関心ヲ以テ萬遺憾ナク期シテ

2. 所獲

重点ヲ以テ歸熱ニ指向シ之ガ絶滅斷キ一段ノ努力ヲ辨ヒツマアルモ
薪ノ不足 諸資材ノ不足ニ之ガ又ハ隘路トナリ意ノ和ラナラズ
月間ニテモ患者ノ發生ヲ現ルニ至レリ

3. 給養ノ状況

給養費ノ日ヲ據ヒテ低下シ如クモ諸物價ノ高騰ニ之ニ拘束ナリテ食
四五〇瓦 副食一日熱量約ニワカロリ 全熱量平均ニ、ワワカロリ
程度ナリ 之ガ克服ニ爲 献之及調理法ノ研究等ニヨリ菜食價
向ニニ勉ムル所 養豚、養鶏、自治農園ノ栽培等ニ努カレリ
大宿舍ノ状況

勉メテ華民トノ雑居ヲ避ケシガ爲 兵舎ノ構築ヲ進メテ諸資材ノ不足ニ
全員ヲ收容スルニ至ラズ

陸軍

3. マラリア性病患者に對する處置

マラリア患者に前月比シ幾分減少を見ルト雖モ月間一、二名ニシテ

疫病ノ半数ヲ示シテマラリアに前不足、竹岡、榮刺等處トナリ

原因發熱後數日間及與シテハ恢復ナリ

性病患者に對シテハ回歸熱ノ發生ニ伴ヒ返還馬車員に對シテ治療

會場等ニ至ラズ

性病者ノ轉送

月間ノ患者一八四名ニテ前月比シニ三名増加シ九江地區後送

數五ニ名ナリ

山檢後

輯記スルニ事受ナシ

陸軍

昭和二十一年三月分

大東亞戰爭關係衛生史編纂資料

中央衛生部
衛生司
衛生課

第五十八師團

一 部隊行動ノ大要

師團ハ前月ニ引續キ其梅地區ニ在リテ復員業務ノ整理完遂ニ努ムル共ニ

職業輔導教育ニ精進シアリ

月間 中隊長集合教育及復員演習ヲ毎員地ス

二 衛生部員勤務ノ状況

三月二十五日 同二十六日 第二回軍醫輔導教育ヲ實施ス

輔導官 軍醫部長以下六名

- 1. 顔面整形術ニ就テ
- 2. 眼ノ構造ト疫病概論
- 3. 回腸熱ニ就テ
- 4. 肺結核ノ治療法 特ニ人工氣胸術ニ就テ
- 5. 乳児ト吐乳ニ就テ
- 6. 血液ト法醫學

三 主要疾病及患者ノ状況

月間連日ニ巨ル降雨 カフルニ給養ノ低下等ニ爲諸疾患増加シ 就中脚氣 栄養欠調症ノ増加ニ否ハベカカガルモアリ

0305

病名	新患(就業以上)	前月トノ比	一 日 平 均 給 養 人 員 對 比 %
マリアア	一三四〇	増 二一八	一三、五
臧 胃	一三一八	減 二四	三、二
脚 氣	六三	増 四七	〇、六
胃腸疾患	一二〇	増 一六	一、二
葉養欠調症	五九		〇、五

四、衛生材料ニ就テ
 月間新患ニ四一一名ニシテ前月ヨリ二一四名ノ増加ヲ示シアリ(就業以上)
 駐留久キニ巨リ且復員ノ見込ニ困難ニシテ材料ノ補給ナラシ患者ノ曰ト云ニ
 増加ノ一途ヲ述リ材料ノ逼迫ハ極度ニシテ莫ク憂ヘヤモノアリ
 現在最モ不足ナル藥物ハマリアア劑・解熱劑・祛痰劑・驅虫劑・
 健胃劑等ニシテ祛痰劑・健胃劑皆無ク状態ナリ
 消耗品ノ不足モ其ノ例ニ次ギ再製ハ勿論ノ事、園地尙在等ニヨリ
 辛シク間ニ合ハセザル状態ナリ

辛シク間ニ合ハセザル状態ナリ

(内容・結果)

五 其、他

1. 保育ノ状況

日間連日ニ亘ル天候ノ不順ニ体力増強策トシテ運動ノ消極的ナリシノ
 体力劣弱者 退院患者中 健康状態ニ未回復者等ニ従前通保育班
 ニ編入 幹部 自ら保育指導ニ任ジ 環境ノ悪感作 加フル給養、休
 下ノ身心ニ及ボク影響ノ又ハ思ヒ 精神的ニ陶化シ 天候回復ト共ニ肉休
 的ニ運動、給養、休養、三者ヲ適正ナラシメ 銃兵、連兵、健兵ニ強兵
 ニ全カクテ保育ニ邁進セリトシテアリ

2. 所 産

回歸熱ノ發止防止ニ爲懸命ニ努力シタルニ連日ノ悪天候ノ急 洗濯モ行ヒ
 得ズ 薪ノ蒐集モ不能ニシテ入浴回数モ減ジ 天候ト燃料ト關係ニテ
 煮沸有毒モ實地ニ得ズ 虱保有者激増シ遂ニ月間ニシテ名ノ
 回歸熱患者發生ス 天候回復ト共ニ之カ撲滅ヲ期セントシテアリ
 亦近時華民間ニ痘瘡患者ノ散發セリヲ認メラルニ至リ 之カ部隊服入

防止ニ爲 華民間、巡察實施 傳染病ノ早期發見ニ勉ムコアリ

3. 給養ノ状況

給養ニ自給農園ノ利用ニ依リ向上スベシ 努力カシタルモ 三月ニ入りテ更ニ低下

シ 兵業一日平均約ニ四〇〇カロリーニ對シ 上旬ニ於テハ幸シク

ニ〇〇〇カロリーヲ維持シ得タルモ 中旬ニ入ルヤ 連日ノ降雨ニ付カシテ

糧秣ノ補給中絶ノ状況トナリ 物價ノ高騰モ著ルシク 給養ニ

極端ニ悪化シ 之食四〇〇瓦 一日ニ食 約一六〇カロリーノ程度

ニ至リ 爲ニ若干ノ築養ヲ調整ヲ出セリ

下旬天候回復スルニ從ヒ 多少緩和サレツノアルモ 未ダ充分ト言ヘサル状況

ナリ

4. 宿舎ノ状況

連日、雨天、爲 新兵舎、雨漏、甚シク 敷葉又濕潤ニ 踏寄材、

厩係上 糞ノ更新モ怠、如ク行ハズ 宿舎ノ衛生環境 極メテ不良ト

ナリ 天候回復ヲ俟ケテ 宿舎ノ改善ヲ 努メントスベシ

大接收ニ関スル外事項

特記スベキ事項ナシ

七、内地歸還ニ伴フ衛生諸般ノ處置

1. 旬給自活對策

月間主要TV製劑状況左如シ

品名	数	品名	数
硫黄浴劑	三〇〇〇	潤精	一五〇〇
硫黄米糊	五〇〇	苦練皮煎	四〇〇〇
麥硫膏	三〇〇	肛門坐藥	六〇
珊膏	五〇〇	車煎末	五〇

2. 一般傷病傳染病發生收療状況

病名	数	病名	数
アトピー性赤痢	三	急性咽喉炎	三三
急慢性腸炎	二	急性咽喉炎	三三
急性腸管炎	五	急性咽喉炎	三三
急性腸管炎	八	急性咽喉炎	三三
急性腸管炎	五	急性咽喉炎	三三

陸軍

0309

外被病	五四	外傷	七五	神経系病	一六
-----	----	----	----	------	----

9. マラリア性患者ニ對スル處置

マラリア患者ニ對スル處置ニ最モビラタマハルモノニシテ月間一三四〇名ノ發症ヲ見 前月比シニ一八名ノ增加ヲ示シ日ヲ経ルニ從ヒテ累増ノ傾向アリ 之ニ反シマラリア劑ノ投與ハ投藥ノ上ニ顯著ニシテ現在發熱後數日間後興スルノミニテ完全治癒ノ望ヲ得ズ

徽毒患者ノ治療ハ一週際終リ 再ビ及難ク檢シタルモ 回歸熱多發ニ伴ヒ今後ノ治療 殆ド實施不能ナリ

小患患者ノ轉後送

月間入院數 三七三名ニシテ前月比シ一八九名ノ増加ニシテ

九江地區後送數 二九六名ナリ

5. 檢疫

特記スルキ事蹟ナシ